

社団法人溶接学会第70回通常総会報告

日時 平成14年4月25日(木) 09:30～11:00
場所 (財)日本教育会館第2会議室 東京都千代田区一ツ橋2-6-3
平成13年度事業報告及び会務報告
(平成13年3月1日 至平成14年2月28日)

社団法人 溶接学会

平成13年度において本会は次の事業を行った。

事業報告

1. 全国大会

1.1 春季全国大会

平成13年4月18日～20日 三省堂文化会館

研究発表講演 138件、特別講演1件、シンポジウム(講演6件)、フォーラム(講演7件)、オーガナイズドセッション(講演6件)

参加者 延約 1,000名

1.2 秋季全国大会

平成13年10月10日～12日 ホテル東日本盛岡

研究発表講演 262件、特別講演1件、論文賞受賞講演3件、フォーラム(講演8件)、ワークショップ(講演6件)、カタログ展示・ビデオコーナー(カタログ出展16社、ビデオ4社)

参加者 延約 1,500名

2. 講習会

2.1 平成13年度溶接工学夏季大学(第50回)「材料構造物の高機能化に対する溶接・接合技術の応用」

会期 平成13年7月17～19日

会場 大阪科学技術センター(大阪)

受講者 60名

2.2 第39回工業高校教員のための溶接工学夏期講座

会期 平成13年8月1日～3日

会場(東海) 名古屋大学

三菱電機(株)名古屋製作所

トヨタ自動車

(株)ダイヘン中部支社

受講者 27名

2.3 平成13年度溶接技術基礎講座(第29回)

会期 平成13年6月14日、15日

会場 溶接学会会議室(東京)

受講者 37名

2.4 溶接技術実用講座「建築鉄骨の基本的な溶接技術」(第5回)(四国支部と共催)

会期: 平成13年3月9日

会場: 高知県工業技術センター

受講者 37名

3. 刊行

3.1 溶接学会誌70巻2号～71巻1号(8冊)

主な内容 資料等68篇、データシート7件、展望1篇

3.2 溶接学会論文集18巻2号～19巻1号(4冊)

主な内容 研究論文75篇

3.3 全国大会講演概要集 第68集および第69集(2冊)

3.4 平成13年度溶接工学夏季大学教材「材料構造物の高機能化に対する溶接・接合技術の応用」

3.5 Mate 2002 8th Symposium on "Microjoining and Assembly Technology in Electronics" (マイクロ接合研究委員会)

3.6 ガイドブック4「Recent Technology of Arc Welding in Vessel and Pipe」(英文版) (溶接法研究委員会)

3.7 第7回エレクトロニクス実装における環境問題シンポジウム「最新エレクトロニクス機器のリユース・リサイクル最前線 - 環境低負荷資源有効環境利用システム構築に向けて」(マイクロ接合研究委員会「環境問題」研究会)

3.8 平成12・13年度会員名簿

3.9 第7回国際シンポジウムプロシーディングス "Proceedings of the 7th International Symposium

4. 研究活動

4.1 研究推進部会（豊田政男部会長）

3回の会合を開催し、各研究委員会の活動状況の把握及び調整並びに研究委員会の活性化を図るとともに、アドホック研究会が1件成果報告、1件継続、4件発足、特別研究会「建築鉄骨の溶接」（中込忠男主査）が発足した。

(1) 平成13年春季及び秋季大会のフォーラムを開催した。

春季全国大会「ソルダリングの鉛フリーは同進むべきか？」（マイクロ接合研究委員会）

秋季全国大会「界面接合の新しい可能性を開く」（界面接合研究委員会）

(2) アドホック研究会「設計・生産システムにおける溶接・接合情報の生成・利用手法に関する基礎研究(Phase II)」(濱田邦裕主査)が成果報告をした。

本研究委員会のPhase Iでは、設計・生産システム全体の高度化・効率化を考慮した溶接・接合情報の生成・利用の方法論について検討した。Phase IIでは、Phase Iの検討結果を基に、溶接・接合部の情報を中核に配置し、その設計を統合的に支援する「統合ジョイント設計支援システム」のプロトタイプを開発することを目的に検討を行った。本システムを実現するために、溶接・接合設計を「縦の流れ」と「横の流れ」に整理し、設計者とシステムが協調して設計案の生成・評価・選択を繰り返しながら、溶接・接合情報を多段階的に生成する仕組みを検討した。さらに、鉄道車両の台車を例題として実際にシステムを構築することによって、本研究で提案した情報処理手法の妥当性を確認した。なお、この詳細は、溶接学会誌71巻3号にて報告している。

(3) アドホック研究会「ダメージメカニクスによる溶接継手の破壊解析」（南二三吉主査）が成果報告をした。

鋼構造物の安全性の確保にとって、不安定破壊（脆性破壊）の発生をいかに防止するかが大きな役割を果たすのは言うまでもない。そのための評価ツールとして破壊力学的手法が開発され、もの造りの進歩とともに発展を遂げてきた。しかし、これまでは破壊抵抗値のみが主に注目され、延性・脆性遷移といった破面様式遷移を考えた評価はほとんどなされていない。

アドホック研究会「ダメージメカニクスによる溶接継手の破壊解析」では、これまでの活動をもとに、アドホック研究会資料集No.1「ダメージメカニクスと遷移温度領域での破壊評価への応用」を近日発刊することにした。内容は、ボイドの発生と成長をモデル化したダメージメカニクスと、その延性・脆性遷移温度領域への応用に関する最近の国内外の研究をレビューしたものである。特に、ボイド発生、成長に関わる材料的・力学的諸因子の影響と、数値解析におけるダメージメカニクスの取り扱い方、不安定破壊予測へのダメージメカニクスの適用などについて最近の研究をまとめている。

(4) アドホック研究会「極超短パルスレーザプロセッシング」（塚本雅裕主査）が発足した。

近年、極超短パルス（パルス幅：フェムト秒～1ピコ秒程度）レーザを用いた加工技術に関して研究が進められている。例えば、極超短パルスレーザを金属等の物質表面に照射すると、従来のパルス（ナノ秒）レーザ照射時とは異なり、材料加工部周辺に熱的損傷がほとんど形成されない非熱的なレーザ加工が可能になることが報告されている。しかし、これらの報告における極超短パルスレーザ加工は、特定の材料のみに対して行われており、現段階では、製造技術のプロセスとしてただちに応用できる状況には至っていない。

そこで、本研究会では、各研究機関で行われている極超短パルスレーザによる材料加工研究について調査し、現状における問題点及び今後の課題をまとめることにより、将来極超短パルスレーザが実用的な材料加工に有用な産業用レーザになりうる可能性について検証することを目的とする。

(5) アドホック研究会「建築鉄骨設計」（中込忠男主査）が発足した。

(6) アドホック研究会「船舶・海洋設計」（富田康光主査）が発足した。

「船舶に望まれる材料特性は」という表題で、平成14年3月20日に開催される「鉄鋼応用技術の革新化」ワークショップの資料を作成した。その概要は、1)鋼材の降伏応力が上昇した場合、二重殻大型タンカーの縦通隔壁構造を例にとり、現行構造様式を採用した時及び構造様式を変更した場合につき検討した。その結果、降伏応力が100N/mm²程度まで上昇しても現行構造様式ではそれほど有利にならないこと、構造要旨を変更すれば相当有利になることが明らかになった。2)ヤング率が上昇した場合、バルクキャリアーの船底外板あるいは内底板の座屈強度を検討した。その結果、ヤング率を上昇すること（例えば数倍）では顕著な効果が得られないことが判明した。

(7) アドホック研究会「橋梁・社会基盤設計」（舘石和雄主査）が発足した。

具体的な橋梁を対象に試設計を行うことにより、鋼材の高強度が活かせる構造形式、高強度鋼

を利用することによるコスト低減効果などを明らかにした。主な成果は次の通りである。

- 1) 長大吊橋に高強度ケーブルを使用した場合の試設計を行い、高強度ケーブルを用いた場合の限界フラッター風速の変化や、全体工費の低減効果などについて明らかにした。
 - 2) 高強度鋼および高張力ボルトを適用した長大吊橋主塔を試設計することにより、それによる工数やコストの削減効果について明らかにした。
 - 3) 過密都市内への適用を目的として超高高架橋を提案し、試設計を行った結果、板厚200mmの極厚HT780の使用により、このような橋脚も設計上は実現可能であることを明らかにした。
 - 4) 一般橋梁への高強度鋼の適用可能性について検討した。桁橋についてはたわみ制限などから高強度鋼の利点を活かすことは難しいが、不等径間連続橋など、限られた場合については高強度鋼の使用によるコスト上のデメリットはあまり大きくないことを示した。
 - 5) 高張力ボルトを用いた高張力極厚鋼板のボルト継手の可能性について検討した結果、高張力ボルトを用いても継手が大規模になり、さらなる検討が必要であることがわかった。
 - 6) 板厚方向に強度を変えた鋼板を提案し、これを使用することにより部材の変形性能を向上できる可能性があることを解析的に示した。
- これらの成果については平成14年3月20日に行われた第4回鉄鋼応用技術研究ステーションプロジェクトWGにて発表し、今後の展望などについて参加者を交えて討論を行った。

4.2 溶接構造研究委員会（南二三吉委員長）

会 合 名	開催年月日	開催地	出席者数	内 容
第 148回	13. 3.14	東 京	37	研究報告 6 件
第 149回	13. 7. 6	大 阪	38	研究報告 6 件
第 150回	13. 9.21	長 崎	41	研究報告 5 件
第 151回	13.11.19	兵 庫	28	研究報告 5 件
第 152回	14. 1.25	東 京	27	研究報告 6 件

4.3 溶接法研究委員会（杉谷祐司委員長）

会 合 名	開催年月日	開催地	出席者数	内 容
第 174回	13. 5.17-18	大 阪	81, 67	研究報告 19件
第 175回	13. 8. 8- 9	大 阪	60, 47	研究報告 10件, 特別講演 1 件
第 176回	13.12. 6- 7	長 崎	34, 35	研究報告 7 件, 見学会
第 177回	14. 2. 5- 7	東 京	50,67,42	研究報告 19件

4.4 溶接冶金研究委員会（西本和俊委員長）

会 合 名	開催年月日	開催地	出席者数	内 容
第 164回	13. 5.22	東 京	37	研究報告 7 件
第 165回	13. 8.22	大 阪	25	研究報告 5 件
第 166回	13.11. 6- 7	兵 庫	26, 26	研究報告 8 件, 見学会
第 167回	14. 2. 5- 7	東 京	50,67,42	研究報告 19件

4.5 溶接疲労強度研究委員会（三木千壽委員長）

会 合 名	開催年月日	開催地	出席者数	内 容
第 189回	13. 4.13	東 京	33	研究報告 4 件
第 190回	13. 6.12	東 京	33	研究報告 5 件
第 191回	13.11. 9	東 京	26	研究報告 2 件, 見学会
第 192回	14. 2. 7	東 京	30	研究報告 5 件

4.6 高エネルギービーム加工研究委員会（阿部信行委員長）

会 合 名	開催年月日	開催地	出席者数	内 容
第 37 回	13. 6. 8	東 京	34	研究報告 7 件
第 38 回	13. 9.18	兵 庫	22	研究報告 5 件, 見学会

シンポジウム 第 39 回	13.11.19 14. 2. 5- 7	大 阪 東 京	79 50,67,42	講演 7 件 研究報告 19件
------------------	-------------------------	------------	----------------	--------------------

4.7 軽構造接合加工研究委員会（前川仁委員長）

会 合 名	開催年月日	開催地	出席者数	内 容
第 53 回	13. 6. 7	東 京	43	研究報告 5 件
第 54 回	13. 9.13	大 阪	35	研究報告 6 件
第 55 回	13.11.15	愛 知	26	研究報告 3 件，見学会
第 56 回	14. 1.24	東 京	34	研究報告 6 件

4.8 溶接アーク物理研究委員会（平岡和雄委員長）

会 合 名	開催年月日	開催地	出席者数	内 容
第 142回	13. 5.23	東 京	25	研究報告 4 件，勉強会 1 件
第 143回	13. 8. 8- 9	大 阪	60, 47	研究報告 10件，特別講演 1 件
第 144回	13.10.31	東 京	29	研究報告 5 件
第 145回	14. 1.28	東 京	28	研究報告 5 件

4.9 マイクロ接合研究委員会（竹本正委員長）

会 合 名	開催年月日	開催地	出席者数	内 容
第 63 回	13. 4.20	東 京		春季全国大会フォーラム
第 64 回	13. 5.25	東 京	81	研究報告 6 件
第 65 回	13. 9.14	東 京	58	研究報告 8 件
シンポジウム	13.11. 9	大 阪	49	第 7 回ILK外口実装における 環境問題シンポジウム
シンポジウム	13.11.28	東 京	59	第 7 回ILK外口実装における 環境問題シンポジウム
第 66 回	13.12. 7	東 京	60	研究報告 6 件
シンポジウム	14. 1.31-2.1	横 浜	608	Mate 2002シンポジウム
第 31 回 分 科 会	13. 7. 5	東 京	73	研究報告 6 件，特別講演 1 件
第 32 回 分 科 会	13.10.26	東 京	71	研究報告 9 件
シンポジウム	14. 1.31-2.1	横 浜	608	Mate 2002シンポジウム

4.10 界面接合研究委員会（池内建二委員長）

会 合 名	開催年月日	開催地	出席者数	内 容
第 57 回	13. 5.18	東 京	27	研究報告 6 件
第 58 回	13. 9.28	東 京	25	研究報告 7 件
第 59 回	14. 1.25	東 京	21	研究報告 5 件，特別講演 1 件

5 . 国内活動

5.1 日本溶接会議(JIW) の活動援助を行った。

5.2 共催、協賛、その他（承認順）

日本学術会議接合工学専門委員会、金属工学研究連絡委員会、材料研究連絡委員会、造船研究連絡委員会、構造工学研究連絡委員会、生産学術連合会、電子SI協議会、日本技術者教育認定機構等の活動に協力した。

他の団体からの協賛等依頼（承認順）

(1)後援：レーザ国際フォーラム実行委員会「レーザ加工国際フォーラム2000」（12.04.13-14）

(2)協賛：日本塑性加工学会「塑性加工シンポジウム」（12.04.19）

- (3)協賛：日本電子顕微鏡学会「代11回電顕サマースクール」(12.08.23-25)
- (4)協賛：第25回電離気体現象国際会議国内組織委員会「第25回電離気体現象国際会議」(13.07.17-22)
- (5)協賛：日本自動車技術会「これからの車体の疲労耐久性評価への新しい提案」(12.05.10)
- (6)協賛：レーザ熱加工研究会「第49レーザ熱加工研究会回」(12.03.17)
- (7)協賛：日本材料学会「第30回初心者のための有限要素法講習会」(12.06.08-9,06.15-16)
- (8)協賛：日本材料学会「第36回X線材料強度に関する講習会」(12.09)
- (9)協賛：日本材料学会「第25回疲労シンポジウム」(12.11.21-22)
- (10)協賛：日本非破壊検査協会「第7回新素材及びその製品の非破壊評価シンポジウム」(12.06.22-23)
- (11)後援：日本溶接協会「化学機械の溶接に関するシンポジウム」(12.05.10)
- (11)協賛：日本塑性加工学会「第203回塑性加工シンポジウム」(13.5.24)
- (12)後援：日本溶接協会「第28回原子力国内シンポジウム」(13.5.9)
- (13)協賛：日本高圧力技術協会「セミナー、第11回圧力設備の材料、設計、施工維持管理」(13.6.21--22)
- (14)協賛：日本材料学会「分子動力学夏季講座」(13.7)
- (15)協賛：日本機械学会「第9回機械材料・材料加工技術講演会」(13.11.8-9)
- (16)協賛：日本塑性加工学会「第136回塑性加工技術セミナー」(13.6.20)
- (17)協賛：日本非破壊検査協会「保守検査シンポジウム」(13.6.28-29)
- (18)共催：日本学術会議「第45回日本学術会議材料研究連合講演会」
- (19)協賛：表面工学国際会議(FSE2001)組織委員会「表面工学国際会議(Frontiers of Surface Engineering 2001)」(13.10)
- (20)協賛：日本材料学会「第37回X線材料強度に関するシンポジウム」(13.9)
- (21)協賛：日本電子顕微鏡学会「セミナー、第11回電子顕微鏡大学」(13.4.19-20)
- (22)協賛：レーザ加工学会「第52回レーザ加工学会」(13.3-26-27)
- (23)協賛：日本材料学会「第31回初心者のための有限要素法講習会」(13.7)
- (24)共催：日本学術会議「第45回材料研究連合講演会」(H13)
- (25)協賛：日本鋼構造協会「第9回鋼構造シンポジウム」(13.11.29-30)
- (26)協賛：日本材料学会「第30回記念FRPシンポジウム」(13.3.14-16)
- (27)共催：国際海洋極地工学会「第12回(2002)国際海洋極地工学会議」(14.5.26-31)
- (28)協賛：日本材料学会「第24回材料講習会」(13.9.4-5)
- (29)協賛：日本接着学会「第39回日本接着学会年次大会」(13.7.5-6)
- (30)後援：神奈川県科学技術アカデミー「平成13年度教育講座」(H13)
- (31)協賛：日本金属学会「セミナー、鉛フリーはんだ実装の基礎と技術」(13.3.27)
- (32)協賛：TWI「Friction Stir Welding Symposium, Kobe」(13.9)
- (33)協賛：日本溶接協会「2002国際ウェルディングショー」(2002.04.24-27)
- (34)協賛：腐食協会「第48回材料と環境討論会」(09.26-28)
- (35)協賛：腐食協会「第26回腐食を理解するための電機化学入門」(07.05)
- (36)後援：日本溶接協会「第29回原子力国内シンポジウム」(13.10.19)
- (37)協賛：日本非破壊検査協会「シンポジウム、第13回アコースティック・エミッション総合コンファレンス」(13.10.2-3)
- (38)協賛：日本塑性加工学会「第205回塑性加工シンポジウム」(13.10.2)
- (39)協賛：日本学術会議「第8回界面シンポジウム」(13.11.13)
- (40)協賛：腐食防食協会「第27回技術セミナー」(13.10.22)
- (41)協賛：エレクトロニクス実装学会「セミナー、鉛フリーはんだ実装化の現状と部品への展開」(13.10.3)
- (42)協賛：エレクトロニクス実装学会「第11回マイクロエレクトロニクスシンポジウム」(13.10.18-19)
- (43)協賛：腐食防食協会「第27回腐食防食入門講習会」(13.11.27-28)
- (44)協賛：日本材料学会「第21回疲労講座」(13.11)
- (45)協賛：日本高圧力技術協会「セミナー、第2回続発する最近の破壊事故に学ぶ」(13.9.13-14)
- (46)協賛：強化プラスチック協会「46th FRP CON-EX2001講演会」(13.9.26-27)
- (47)協賛：レーザ加工学会「第53回レーザ加工学会」(13.7.12-13)
- (48)協賛：日本高圧力技術協会「セミナー、第11回圧力設備の材料、設計、施工、維持管理」(13.11.21-22)
- (49)協賛：高温学会「第10回溶射総合討論会」(13.11.1-2)
- (50)協賛：日本材料学会「第39回高温強度シンポジウム」(13.12.13-14)
- (51)協賛：未踏科学技術協会「第13回傾斜機能材料シンポジウム」(13.11.29)
- (52)協賛：第22回IDDRG会議組織委員会「薄板成形に関する第22回国際会議」(14.5.20-24)
- (53)協賛：日本材料学会「第18回材料・構造信頼性シンポジウム」(13.11)
- (54)協賛：日本材料学会「フラクトグラフィ講習会」(13.11)
- (55)協賛：日本材料学会「腐食防食部門委員会 第224回例会」(13.9.7)
- (56)協賛：高温学会「先端材料およびその接合体における界面設計に関する国際会議」(14.11.25-27)
- (57)協賛：自動車技術会「シンポジウム、車両軽量化技術の最前線」(13.11.5)
- (58)協賛：日本溶接協会「講習会、すぐ役立つやさしい溶接技術」(13.10.12)

- (59) 協賛：日本機械学会「設計工学・システム部門講演会」(13.11.5-7)
- (60) 後援：溶接接合工学会振興会「日本における宇宙開発の現状と将来」「ジェットエンジンの開発と技術的動向」(13.11.15)
- (61) 協賛：レーザ加工学会「レーザ先端材料加工国際会議」(14.5.27-31)
- (62) 協賛：日本機械学会「JSME/ASME International Conference on Materials and Processing2002」(14.10.15-18)
- (63) 協賛：日本金属学会「シンポジウム、自動車用材料の高温特性研究の最先端」(13.12.7)
- (64) 協賛：日本原子力学会「第40回原子力総合シンポジウム」(14.5.21-22)
- (65) 協賛：日本非破壊検査協会「表面探傷・サーモグラフィ合同シンポジウム」(13.11.13-14)
- (66) 協賛：日本材料学会「第38回X線材料強度に関する討論会」(13.11.30)
- (67) 協賛：レーザ協会「第25回レーザ協会セミナー、レーザ加工2001-明日のレーザ成形技術-」(13.11.9)
- (68) 協賛：日本鉄鋼協会「セミナー、鉄鋼の析出制御メタラジー最前線」(13.10.22)
- (69) 協賛：日本鉄鋼協会「セミナー、技術者のための鉄鋼材料入門」(13.10.25、13.12.7)
- (70) 協賛：日本材料学会「第31回FRPシンポジウム」(14.3.18-20)
- (71) 協賛：日本ガスタービン学会「第30回ガスタービンセミナー」(14.1.14-18)
- (72) 協賛：日本高圧力技術協会「セミナー、第2回エネルギー貯槽等技術基準と安全性」(14.2.14-15)
- (73) 協賛：独立行政法人 物質・材料研究機構「第6回超鉄鋼ワークショップ」(14.5.21)
- (74) 協賛：独立行政法人 物質・材料研究機構「第1回超鉄鋼国際会議」(14.5.22-24)
- (75) 協賛：日本材料学会「第8回機械・構造物の強度設計、安全性評価に関するシンポジウム」(14.1.)
- (76) 協賛：腐食防食協会「第28回技術セミナー」(14.2.5)
- (77) 協賛：日本金属学会「セミナー、パソコンで学ぶ材料工学」(13.12.3)
- (78) 協賛：日本金属学会「セミナー、エネルギー・環境保全機器材料の高温腐食および防食の基礎と実際」(13.10.30-31)
- (79) 協賛：日本金属学会「シンポジウム、原子力エネルギーの高効率安全利用と材料・システムインテグレーション」(13.11.9)
- (80) 後援：日本建築学会「講習会、鋼構造接合部設計指針」(13.11.13・20・22・27、12.4・6)
- (81) 後援：溶接接合工学会振興会「セミナー、溶接接合プロセスの自動化・システム化」(13.10.24)
- (82) 共催：生産学術連合会「第6回」会費2万円委員推薦：代表委員(座古勝)、推進委員(渥美幸一郎)
- (83) 協賛：ASM 6th International Conference「TRENDS IN WELDING RESEARCH」(14.8.20)
- (84) 共催：日本鋼構造協会「日米鉄骨シンポジウム」(14.4.4)
- (85) 協賛：日本金属学会「金属学会セミナー/材料破壊の基礎から応用」(14.3.27)
- (86) 協賛：日本金属学会「金属学会セミナー/先端材料における拡散」(14.6.6~7)
- (87) 協賛：日本時計学会「2002年春季マイクロスコープ学術講演会」(14.3.1)
- (88) 共催：人工物設計・生産研究連絡委員会「設計工学シンポジウム」(14.5.28~29)
- (89) 協賛：日本鋼構造協会「第8回鋼構造物の補修・補強技術報告会」(14.6.13)
- (90) 協賛：日本計算工学会「第7回講演会」(14.5.20)
- (91) 後援：日本溶接協会「第10回 溶接の研究 講習会」(14.2.26)
- (92) 共催：日本接着学会「2002年度第40回日本接着学会年次大会」(7.22 23)
- (93) 協賛：日本電子顕微鏡学会「第12回電子顕微鏡大学(初心者向け電顕技術セミナー)」(4.23 24)
- (94) 協賛：日本鋼構造協会「第10回鋼構造シンポジウム」(11.28 29)
- (95) 協賛：レーザ加工学会「第55回レーザ加工学会」(3.14 14)
- (96) 協賛：日本塑性加工学会「塑性加工シンポジウム」(5.25)
- (97) 協賛：日本材料学会「第32回初心者のための有限要素法講習会」(7~8月)
- (98) 共催：第4回核融合エネルギー連合講習会(6.13 14)

5.3 金属関係学協会連絡委員会に参加して各種連絡を行った。

5.4 次の学協会と機関誌を交換し研究連絡、情報交換を行った。

学協会名	誌名	学協会名	誌名
軽金属学会	軽金属	日本建築学会	建築雑誌
軽金属溶接構造協会	軽金属溶接	日本高圧力技術協会	圧力技術
高温学会	高温学会誌	日本鋼構造協会	JSSC
高圧ガス保安協会	高圧ガス	日本接着学会	日本接着学会誌
電気学会	電気学会誌	日本造船学会	TECHNO MARINE
電気製鋼研究会	電気製鋼	"	造船学会論文集
土木学会	土木学会誌	日本鉄鋼協会	鉄と鋼
"	土木学会論文集	"	ふえらむ
日本海事協会	日本海事協会誌	"	ISIJ International
日本機械学会	日本機械学会誌	日本非破壊検査協会	非破壊検査
日本橋梁建設協会	虹橋	日本溶接協会	溶接技術
日本金属学会	まてりあ		

6. 国際活動

6.1 第7回国際シンポジウム(7WS)の開催 牛尾誠夫実行委員長

平成13年11月20日、21日、22日の3日間、神戸国際会議場にて創立75周年記念事業として開催した。

参加者数 433名(含海外18か国50名) 発表論文件数233件(含海外58件)
記念講演(2件)"Roles of Applying Welding Technology to Structure Manufacturing"(須清修造会長), "Management Processes for Innovation in Joining Technology"(R.E.Dolby, TWI)

日本財団、ポートピア81記念財団、中内力コンベンション振興財団から多大のご援助をいただいた。

6.2 国際溶接学会(IIW)関係

IIWの活動を支援して年間を通じIIWの日常活動及び年次大会(第55回)(スロベニア国リュブリャナ)に参加した。年次大会参加者は34カ国460名、日本からは94名(含同伴者)。

6.3 アメリカ溶接協会(AWS)と学术交流協定を更新締結した。

6.4 次のとおり機関誌を交換し、研究情報の交流を推進した。

誌名	国名
1 Australian Welding Research	オーストラリア
2 Revista Soldadura	アルゼンチン
3 Schweiss-& Prufung Technik	オーストリア
4 Reveu de la Soudure - Lastijdschrift	ベルギー
5 Leurotest Technical Bulletin	"
6 Metalurgia	ブラジル
7 Associaçao Brasileira de Soldagem	"
8 Canadian Welder & Fabricator	カナダ
9 Zvaranie	チェコ
10 Welding News	"
11 Hitsaustekniikka Svetsteknik	フィンランド
12 Soudage et Techniques Connexes	フランス
13 Bulletin Singanaletique	"
14 Sciaky	"
15 Schweissen und Schneiden	ドイツ
16 Schweissttechnik	"
17 Wissenschaftliche Zeitschrift	"
18 Indian Welding Journal	インド
19 Journal of the Association of Engineers	"
20 Rivista Italiana della saldatura	イタリア
21 Korean Scientific Abstracts	韓国
22 大韓金属学会誌(Journal of KMM)	"
23 大韓溶接学会誌	"
24 Metals and Materials	"
25 Lasttechnik	オランダ
26 Przegląd Spawalnictwa	ポーランド
27 Biuletyn Instytutu Spawalnictwa	"
28 Polish Engineering	"
29 Technologia Qualidade	ポルトガル
30 Buletin IPI	ルーマニア
31 Serie de Metalurgia	"
32 Sudura	"
33 Revista de Metallurgia	スペイン
34 Revista de Soldadura	"
35 Soldadura y Tecnologias de Union	"
36 Svetsaren	スウェーデン
37 Schweissttechnik Soudure	スイス
38 Welding & Metal Fabrication	英国
39 Welding Review	"
40 Metals Technology	"
41 Welding International	"
42 Welding Journal	アメリカ

43 Welding Research Abroad	"
44 WRC Bulletin	"
45 CA Selects(Ceramic Materials)	"
46 Avtomaticheskaya Svarka	ウクライナ
47 Strength of materials	"
48 All - Union Monthly of Engineering Physics	"
49 Zavarivac	スロベニア
50 Varilna Tehnika	"
51 Science in China	中国
52 地質学報	"
53 金属学報	"
54 鋼 鉄	"
55 Transactions of the Chinese Welding Institution	"
56 冶金分析	"
57 材料科学	"
58 China Welding	"

会務報告

1. 第69回通常総会

日 時 平成13年4月19日(木) 09時35分開会 11時05分閉会

場 所 三省堂文化会館8F大研修室

出席者 21名 委任状84名 合計106名(総数154名)

議 事

平成12年度事業及び会務報告の件 承認

平成12年度収支決算報告の件 "

監査報告 "

平成12年度事業計画の件 可決

平成12年度収支予算の件 "

名誉員推薦 "

Richard Dolby君、David G.Howden君、Guan Qiao君、Bertil Pekkari

特別員推薦

玉置維昭君、河野武亮君、野村博一君

推薦会員推薦

Um Dong Suk君、Ang Chee Pheng君

表彰

イ. 溶接学会賞

野本敏治君

ロ. 溶接学会功績賞

池淵浩介君

ハ. 溶接学会業績賞(3件)

瀬尾健二君、大橋 修君、宮田隆司君

ニ. 佐々木賞(2件)

酒井啓一君、松村裕之君

ホ. 溶接学会論文賞(3件)

太田昭彦君、渡辺修君、松岡一祥君、志賀千晃君、西島敏君、前田芳夫君、鈴木直之君、

久保高宏君

瀬渡直樹君、片山聖二君、松縄 朗君

篠崎賢二君、羅湘軍君、吉原聡君、有吉秀文君、黒木英憲君、白井誠君

ヘ. 溶接学会論文奨励賞(3件)

西岡映二君、辻 陽子君、吉岡隆幸君

ト. 田中亀久人賞(1件)

浅井 知君、坪井竜介君、青山和夫君、多紀圭史君、小林雅弘君

チ. 溶接学術振興賞(2件)

牛尾誠夫君(関西支部推薦)、猪子富久治君(四国支部推薦)

リ. 溶接学会研究発表賞(11名)

春季全国大会（５件）
坪田秀峰君、外館 明君、大縄登史男君、望月正人君
秋季全国大会（６名）
川口 勲君、篠原康浩君、藤井英俊君、萱森陽一君、鈴木浩昭君、畑野 等君
又、溶接学会シンポジウム賞
Mate2001優秀論文賞（１件）
下川一生君、小松哲郎君、渡邊尚威君、森 郁夫君
Mate2001研究奨励賞（１件）
東田隆亮君
ル、溶接学会奨学賞（１５件）
東北支部：平岡恒哲君
東部支部：萱沼安昭君、山下司平君、渡辺茂
東海支部：金子創君、河合太郎君
関西支部：佐野裕介君、山崎圭君、中井啓晶君、吉岡顕二君、永富一成君
中国支部：大石浩二君、石松和実君
九州支部：田中孝彦君、柴田明宣君

2. 評議員会

日 時	平成 13 年 4 月 18 日（水）17：00 開会	18：00 開会
場 所	三省堂文化会館 2 F 第 5 研修室	
出席者	7 名、委任状 89 名、合計 96 名（総員 143 名）	
議 事	平成 12 年度事業及び会務報告の件	承認
	平成 12 年度収支決算報告の件	〃
	監査報告	〃
	定款改訂の件	可決
	溶接学会規則改定の件	〃
	平成 13 年度事業計画の件	〃
	平成 13 年度収支予算の件	〃

3. 理事会（定例 5 回）

本年度の主な議題・決議事項

(1) 溶接学会活性化について

平成 12 年度に引き続き、学会の長期展望の具体化について検討し、研究活動基盤強化、財政基盤強化、学会事務合理化、溶接情報発信基地としての基盤強化、溶接教育体系の国際化対応への具体的対策、会勢拡大などを検討し、短期行動計画の具体化に向けて逐次実行に移した。

(2) 財政改善について

逼迫した財政状態改善のために、人件費、事務費の節減、会誌印刷費のコスト低減など支出を引き締めるとともに、講習会、広告料など会費外収入の増加を図り逐次実行に移した。

(3) 75 周年記念事業について（野本敏治運営委員長）

本年の創立 75 周年に向けて、運営委員会を組織し、第 7 回国際シンポジウム（7WS）、75 周年史、記念式典、溶接・接合便覧の改訂を柱に準備を進めそれぞれ実施した。個人会員を中心に計 456 件の臨時会費をいただいた。

(4) 会勢の拡張について

正員の増強、学生に対する啓発及びサービス活動の強化、そして財源の安定化と学会活動の浸透を図った。

(5) 特別研究活動の推進について

研究推進部会の提案に基づいて、特別研究会の設置及び活動の推進について審議し、特別研究会「建築の溶接」を発足し、アドホック特別研究会を 1 件を継続及び 4 件を新たに発足した。

4. 業務委員会活動

4.1 企画委員会（牛尾誠夫委員長）

平成 12 年度に引き続き、学会の長期展望の具体化について検討し、研究活動基盤強化、財政基盤強化、学会事務合理化、溶接情報発信基地としての基盤強化、溶接教育体系の国際化対応への具体的対策、会勢拡大、英文誌の刊行、賞の新設などを検討し、短期行動計画の具体化に向けて逐次実行に移した。

4.2 論文査読・審査委員会（黄地尚義委員長）

年度内 6 回の定例委員会を開催し、投稿論文の査読及び掲載可否決定の審査を実施した。

4.3 全国大会運営委員会（粉川博之委員長）

（１）年度内４回の委員会を開催し、平成１３年度春季・秋季全国大会および平成１４年度春季・秋季全国大会の企画・運営について協議決定した。

（２）講演概要集第６８集および第６９集を編集発行した。

（３）平成１３年度秋季および平成１４年度春季全国大会プログラムを編成した。

（４）全国大会研究発表講演の表彰制度「溶接学会研究発表賞」を平成１３年度春季及び秋季大会にて実施した。

（５）春季大会にて産業界の有識者による特別講演を実施した。

（６）春季大会にてオーガナイズドセッションを実施した。

4.4 編集委員会（入江宏定委員長）

年度内６回の委員会及び分野別担当者会議を開催し、溶接学会誌及び溶接学会論文集の編集並びにそれぞれの刊行に関する業務を実行した。

4.5 国際交流委員会（野村博一委員長）

（１）第７回国際シンポジウムの開催に向けて企画推進に協力した。

（２）国際交流の在り方、国際戦略について検討した。

（３）海外名誉員、推薦会員（Guest Member）について検討した。

（４）日米学術交流協定の更新を検討した。

（５）各国からの依頼事項、照会事項を処理した。

4.6 科学研究費委員会（豊田政男委員長）

文部省科学研究費分科細目の変更に係る問題の検討及び科学研究費の申請に係る事項を処理した。

4.7 溶接用語委員会（松縄朗委員長）

（１）IIW 第６委員会と合同で２回の委員会を開催し、IIW第VI委員会の活動を支援した。

（２）溶接用語集（和英対訳）の刊行を目的として、IIW 溶接用語、JIS 溶接用語など内外溶接用語の集録、検討を行った。

（３）日本溶接協会規格委員会、JIS 溶接用語改訂準備委員会の活動に協力した。

4.8 文献資料委員会

（１）IIW における溶接関係文献アブストラクト交換業務が停止されており、本会における同アブストラクトの作成及びIIW 各 International Documentation Centers への送付を引き続き停止した。なお、IIWにおいては、本委員会関連事項は第 委員会（用語）で検討されることになった。シソーラスの改訂も同VI委員会で検討される。

4.9 溶接教育委員会（恩沢忠男委員長）

（１）年度内２回の委員会を開催し、学会の普及・教育活動に関する課題について検討した。

（２）視聴覚教材の製作について検討した。

（３）平成１３年度溶接技術基礎講座を開催した。（前掲）

（４）平成１３年度溶接工学夏季大学を開催した。（前掲）

（５）第３９回工業高校教員のための溶接工学夏期講座を開催した。（前掲）

（６）IIW 第XIV等と連絡し、各国と溶接教育について情報を交換した。

（７）連続講座（基礎分野）及び溶接・接合セミナー（トピックステキなもの）について企画を検討した。

（８）IIWスキーム対応教師用教材（OHP等）の利用について検討した。

（９）日本技術者教育認定機構（JABEE）の活動に協力した。

（１０）日本工学会のPDE協議会（「社会人の専門職業能力開発・維持調査研究委員会」）及びCPD委員会（「技術者生涯教育システム調査委員会」）の活動に協力した。

4.10 財務強化委員会（恩沢忠男委員長）

年度内２回会合し、名刺広告及び会誌特集号を対象とした広告業務を行いまた資料集頒布事業を検討した。

5. 若手会員の会（木谷靖委員長）

5.1 若手会員のためのフォーラム（共催：（財）溶接接合工学振興会）

（１）春季全国大会フォーラム，懇親会

主題：溶接・接合研究の各種情報ソース-最近の国際会議，ジャーナル等の紹介-

日時：平成13年4月19日（木）17:00～18:30

場所：三省堂文化会館（春季全国大会開催会場）

溶接学会全国大会 第4会場

参加者：18名

（２）秋季全国大会フォーラム，懇親会

主題：若手講演者の研究紹介と若手会員の交流会

日時：平成13年10月11日（木）18:00～19:30

場所：ホテル東日本盛岡（秋季全国大会開催会場）
4F「椿の間」，「楓の間」

参加者：52名

5.2 若手会員のためのセミナー・勉強会

(1) 春季セミナー

主題：これから溶接・接合を学ぶ人たちのための溶接法基礎講座

日時：平成13年3月16日（金）10:30～17:00

場所：エル・おおさか（大阪府立労働センター）

参加者：30名

(2) 第16回勉強会

主題：世界最大級LNGタンク建設現場と最先端溶接技術の見学

日時：平成14年1月17日（木）13:00～17:00

場所：大阪ガス株式会社 姫路製造所

参加者：37名

5.3 広報および情報交換

(1) 溶接学会誌「若手会員の会 自由編集のページ」に、国際会議への参加や海外渡航に関する特集記事、若手研究者による研究活動報告等を掲載した。

(2) ホームページに活動報告、行事案内等を掲載した。

(3) メールリングリスト（E-mail）による情報交換を促進した。

登録者数 約280名（平成14年2月現在）

E-mail投稿数 約230通（平成13年3月1日から平成14年2月28日まで）

5.4 若手会員の会運営委員会（木谷靖委員長）

2回の運営委員会を開催し、若手会員の会活動内容について審議決定し、実行した。

・第24回運営委員会

日時：平成13年4月19日（木）9:30～11:00

場所：三省堂文化会館（春季全国大会開催会場）会議室

出席：16名（在籍33名）

・第25回運営委員会

日時：平成13年10月11日（木）12:00～13:00

場所：ホテル東日本盛岡（秋季全国大会開催会場）介寿荘

出席：15名（在籍33名）

なお、運営委員間の協議用として、運営委員メールリングリスト（u-welnet）経由でのE-mailの活用によって定例運営委員会のみではフォローしきれない連絡および議論を進めた。

6. その他の諸会合

支部長会議	2
財務理事会	2
総務理事会	2
溶接学会賞授賞審査委員会	1
溶接学会功績賞授賞審査委員会	1
名誉員推薦審査委員会	1
特別員選考委員会	1
推薦会員審査委員会	1
溶接学会業績賞審査委員会	1
佐々木賞審査委員会	1
溶接学会論文賞・溶接学会論文奨励賞審査委員会	1
田中亀久人賞授賞審査委員会	1
溶接学術振興賞審査委員会	1
溶接学会研究発表賞審査委員会	2
溶接学会シンポジウム賞審査委員会	1

7. 会 勢

会員数（平成14年2月末現在）

賛助員		団体員	個人会員					個人会員
会員数	口数		名誉員	特別員	推薦会員	正員	学生員	合計
448	1,125	70	33	73	11	3,430	250	3,797

会員の移動

種 別		賛 助 員		正 員	学生員	団体員
		会員数	口 数			
13年度初在籍数		472	1,175	3,533	202	73
入 会		3	3	105	101	1
退 会		27	36	215	29	4
口 数 変 更	増	-----	-----	-----	-----	-----
	減	(7)	17	-----	-----	-----
資 格 変 更	増	-----	-----	24	1	-----
	減	-----	-----	* 4	24	-----
計		448	** 1,125	** 3,430	** 250	70

* : 特別員へ移行 (3 名)、推薦人へ移行 (1 名)

** : 退会保留及び減口保留中のものを整理 (正員 1 3 名、学生員 1 名)

支部報告

北海道支部 (成田敏夫支部長)

1 . 支部商議員会並びに支部総会

日時 : 平成13年3月3日 (土) 13:30 ~ 14:30

会場 : 北海道大学工学部材料化学系棟 5F大会議室

2 . 幹事会 (3 回)

3 . 各賞受賞者選考委員会

(1)溶接技術奨励賞並びに溶接技術普及賞授賞審査委員会

(2)奨学賞選考委員会

4 . 見学会

日時 : 平成13年 8月21日 (火) 13:00 ~ 14:30

場所 : 札幌駅南口開発ビル (JRタワー新築工事 / 高層棟)

参加者 : 29名

5 . 溶接学会各賞授与

日時 : 平成13年8月3日

受賞者 : < 特別優秀賞 > (溶接協会溶接技術コンクール) : 櫻庭 靖、上村隆幸

日時 : 平成14年3月19日 (火) 15:00 ~ 16:00

会場 : 北海道大学工学部材料・化学系棟5F 小会議室

受賞者 : 溶接技術普及賞 (坂本紘一)、溶接技術奨励賞 (井上稔康)、奨学賞 (小林大樹)

6 . 溶接技術講習会

主催 : (社) 溶接学会北海道支部

日時 : 平成13年12月6日 (木) 13:00 ~ 17:00

会場 : コラボ北海道 大会議室

受講者 : 24名

7 . 研究会

(1) 新しい溶接・接合技術に関するセミナー

日時 : 平成13年11月28日 (水) 13:00 ~ 17:00

会場 : 旭川市工業技術センター

主題 : 「溶接施工技術」

受講者 : 32名

(2) 映画会「巡回ビデオ上映会」

開催時期 : 2月25日 ~ 3月15日の間。

申込 : 岩田建設 、 巴コーポレーション、桜井鉄工 、 函館どつく 、 神戸製鋼所

豊平製鋼

東北支部（粉川博之支部長）

1. 事業

1.1 第38回商議員会

平成13年5月12日（土）午前11時より（社）日本溶接協会東北地区溶接技術検定委員会会議室にて開催

1.2 表彰

平成12年度溶接技術奨励賞、溶接技術普及賞授与

平成13年5月12日（土）午前11時より東北地区溶接技術検定委員会会議室

溶接技術奨励賞 前川哲也 氏

溶接技術普及賞 虻川堅悦 氏、佐藤和衛 氏

平成12年度溶接学会奨学賞授与

本部 平岡恒哲君

東北支部 近藤尚行君、福田 健君、藤原一博君

1.3 総会：平成12年度と同様郵送による形式。

1.4 研究会：第13回溶接・接合研究会を平成13年7月13日（金）午後、宮城県産業技術総合センター（宮城県仙台市）にて開催（特別講演1件、研究発表6件、見学会、懇親会、参加40名）。支部活動強化費助成を受けましたことに感謝いたします。

1.5 平成13年度秋季全国大会（東北支部担当）開催

日程：平成13年10月10日（水）～12日（金）3日間

会場：ホテル東日本盛岡 〒020-0022盛岡市大通3-3-18

東部支部（大嶋健司）

1. 事業報告

（1）第27回実用溶接講座

主 題：溶接・切断技術の現状と最近の動向

開 催 日：平成13年6月21日（木）、22日（金）

開催場所：（財）日本溶接技術センター

聴講者数：55名

（2）東京地区講習会

主 題：東京都鉄骨加工工場登録制度 Cランク（管理者向け）技術講習会

共 催：（社）溶接学会 東部支部 東京地区委員会

開 催 日：平成13年12月16日（日）

開催場所：産学協同センター（江東区大島）

聴講者数：43名

共 催：（社）溶接学会 東部支部 東京地区委員会

開 催 日：平成13年12月24日（月）

開催場所：中野サンプラザ（中野区中野）

聴講者数：47名

（3）神奈川地区技術講習会

主 題：溶接技能伝承におけるIT化の試み

共 催：（社）日本溶接協会 神奈川県支部

（財）日本溶接技術センター

開催日：平成13年11月19日（月）

開催場所：職業能力開発大学校

見 学：職業能力開発大学校キャンパス

溶接技能解析システムによるデモ溶接実験

聴講者数：24名

（4）千葉地区溶接技術講習会

例年10月頃実施しているが、本年度は（社）日本溶接協会関係の講習会と時期的に重なったため、技術講習会の開催時期を平成14年3月とし、平成13年度には実施せず。

（5）茨城地区講演会

主 題：摩擦攪拌溶接の開発状況と今後の動向

開 催 日：平成14年2月28日（木）

開催場所：中小企業福祉センタ（日立市）

聴講者数：23名 * 重機械溶接工場の見学会も同時に開催

（6）埼玉地区講演会

主 題：最新の溶接関連装置および溶接材料の選び方・使い方

共 催：（社）日本溶接協会 埼玉県支部

開催日：平成13年 4月 28日（土）

開催場所：ポリテクセンター埼玉

聴講者数：26名

（7）栃木地区講演会

主 題：鋼・コンクリート合成桁に関する最近の話題

共 催：（社）日本溶接協会 栃木県支部

開催日：平成14年 2月 7日（木）

開催場所：栃木県工業技術センター

聴講者数：25名

（8）群馬地区講習会

主 題：ガス溶接技能講習会、アーク溶接特別教育、溶接検定のための事前講習会、溶接技術基礎研修

共 催：（社）溶接学会 東部支部 群馬地区委員会

開催日：平成13年5月～平成14年2月（11回開催）

開催場所：群馬県工業試験場、群馬県勤労福祉センター 他

聴講者数：延べ591名

（9）新潟地区講習会

主 題：アルミ、チタン、マグネおよびその合金の溶接技術の基礎と応用

共 催：（財）新潟県県央地域地場産業振興センター

開催日：平成13年11月13日（火）

開催場所：新潟県県央地域地場産業振興センター 大会議室

聴講者数：35名

（10）山梨地区講習会

主 題：試作溶接熱管理システムの検討会

共 催：（社）溶接学会 東部支部 山梨地区委員会

開催日：平成13年6月22日（金）、平成13年9月11日（火）、平成13年11月20日（火） * その他、企業における実施試験を13社で実施。

開催場所：山梨県工業技術センター、県内建築鉄骨製造企業13社

（11）長野地区講習会

主 題：ガス溶接技能講習実技指導者研修会

共同主催：（社）日本溶接協会 長野県支部

開催日：平成13年9月11日（火）

開催場所：松本技術専門学校（松本市）

聴講者数：30名

開催日：平成13年9月28日（金）

開催場所：長野地域職業訓練センター（長野市）

聴講者数：34名

2．会 務 報 告

（1）平成13年度通常総会

通常総会は隔年開催のため、本年度は開催せず、平成12年度事業報告及び会務報告、平成13年度事業計画、平成12年度収支決算ならびに平成13年度収支予算は、郵送による書類審査で承認された。

（2）特別講演

通常総会に合わせて実施しているため、本年度は実施せず。

（3）常任幹事・地区委員長会議（4回）

（4）各賞選考委員会

（5）表彰

溶接技術奨励賞：春日井孝昌、高野悠敬

溶接技術普及賞：上田敬三郎、品田邦彦、青木 弘

溶接学会奨学賞：古賀 毅、本間信吾、本江美杉

東海支部（榎本清志支部長）

1．総会及び特別講演

日時：平成13年5月25日（金）13：00 - 17：00

場所：名古屋市工業研究所

特別講演「航空宇宙機器における接合技術」（藤原力）

2．溶接研究会（第48回）（講演3件）

- 日時：平成13年9月7日
場所：名古屋大学工学部4号館
3. 溶接研究会（第49回）（講演3件）
日時：平成13年11月19日
場所：名古屋市工業研究所
4. 溶接研究会（第50回）（テーマ「溶接の自動化」）
日時：平成14年2月
場所：名古屋市工業研究所
5. 第10回溶接技術講習会（初級及び中級溶接技術者向け）
日時：平成13年10月
場所：愛知県トラック会館
6. 第11回講習会「自動車産業における接合技術」
7. 支部商議員会（2回）
8. 平成14年度秋季全国大会を準備した。
9. 国際協力事業団中部国際センター
第3回「溶接技術」研修コース（8か国8名）への協力をした。
10. 第39回工業高校教員のための溶接工学夏期講座の実施に協力した。
11. その他
支部3賞の候補者を推薦した。

北陸支部（北川和夫支部長）

1. 事業
- 1.1 講習会、セミナーなど「テーマ」
なし
- 1.2 刊行
なし
2. 会務報告
- 2.1 平成13年度通常総会
日時：13年6月28日
会場：富山県工業技術センター
- 2.2 特別講演（1）「鉄骨溶接施工における入熱・パス間温度の管理および最近の溶接材料について」（信田誠一）
日時：13年6月28日
会場：富山県工業技術センター（講演）・ポリテクセンター富山実習場（実演）
出席者55名
- 特別講演（2）「レーザAE法によるコーティング材の非接触非破壊評価」（榎学）
日時：13年6月28日
会場：福井県工業技術センター
出席者40名
- 特別講演（3）「圧力容器、タンク、パイプなどの実構造物におけるAE試験適用の現状」（日本フィジカルアコースティクス（株））
日時：13年6月28日
会場：福井県工業技術センター
出席者40名
- 2.3 幹事会
- 1) 日時：13年6月28日
場所：富山県工業技術センター
出席者10名
- 2) 日時：13年11月26日
場所：福井県工業技術センター
出席者10名

関西支部（山本英幸支部長）

1. 事業
- 1.1 見学会
会期 平成 13年10月4日 13:00～17:00
会場 “播磨科学公園都市・Spring-8(大型放射光施設)” 見学講演「Spring-8の製造における溶接について」

- 見学会参加・受講者 41名
- 1.2 シンポジウムおよび表彰式
 - 会期 平成 14年3月14日10:00～17:00
 - 会場 尼崎リサーチインキュベーションセンター
 - テーマ「新技術領域における溶接・接合技術の挑戦」
 - 出席者 47名
- 1.3 技術セッション
 - 会期 平成13年11月22日(木)13:00～18:30
 - 会場 神戸国際会議場 7WS特別セッションに共催
 - テーマ「溶接・接合技術の最近の進歩」
 - 出席者 特別セッションのみ登録53名、当日の出席者は約100名
- 2. 会務報告
 - 2.1 13年度商議員会及び第1回幹事会
 - 1. 日時：平成13年5月18日(金) 16:00～17:00
 - 2. 場所：中央電気倶楽部 315号会議室(大阪市中央区堂島)
 - 3. 出席者：山本支部長以下18名
 - 2.2 第2回幹事会
 - 1. 日時：平成13年12月4日(金)16:00～17:00
 - 2. 場所：中央電気倶楽部 315号会議室(大阪市中央区堂島)
 - 3. 出席者：山本支部長以下 22名

中国支部(深谷保博支部長)

- 1. 事業
 - 1.1 研究会・見学会
 - 日時：13年6月21日
 - 場所：三井造船(株)玉野事業所
 - 出席：57名
 - 1.2 溶接技術講習会
 - テーマ：ITと生産技術
 - 日時：13年11月27日
 - 場所：広島市工業技術センター
 - 受講：50名
- 2. 会務
 - 2.1 第1回支部幹事会
 - 日時：13年8月29日
 - 場所：東方2001
 - 2.2 第2回支部幹事会
 - 日時：14年1月11日
 - 場所：東方2001
 - 2.3 商議員選挙
 - 2.4 支部総会
 - 日時：14年3月29日
 - 場所：東方2001

四国支部(勝村宗英支部長)

- 1. 事業
 - 1.1 第15回溶接技術実用講座「鋼構造物の溶接管理のかんどころ」
 - 平成13年6月29日
 - 愛媛県工業技術センター
 - 37名
 - 1.2 第16回溶接技術実用講座「鉄構溶接施工法の改善」
 - 平成13年9月7日
 - 香川県産業技術センター
 - 19名
 - 1.3 第10回溶接技術基礎講座「薄肉ステンレス鋼の歪み防止と表面処理」
 - 平成13年11月30日
 - 高知県工業技術センター
 - 38名
 - 1.4 第7回四国地区材料関連学協会支部・研究会連合講演会

平成14年3月8日
徳島大学工学部
48名

1.5 共催講習会

1.5.1 レーザ切断ワークショップ

平成13年6月1日
(有)日鉄工業

1.5.2 第8回ウルトラウエルドトレーニング

平成13年6月23日
高知県立高知高等技術学校(8回~11回同会場)

1.5.3 第9回ウルトラウエルドトレーニング

平成13年8月25日

1.5.4 第10回ウルトラウエルドトレーニング

平成13年9月8日

1.5.5 第11回ウルトラウエルドトレーニング

平成13年9月15日

2 会務報告

2.1 通常総会

なし

2.2 幹事会(4回)

九州支部(大城桂作支部長)

(1) 支部総会

日時:平成13年6月29日(金)

場所:熊本大学工学部附属工学研究機器センター

(2) 研究発表会

日時:平成13年6月29日(金)

場所:熊本大学工学部附属工学研究機器センター

特別講演:「熊本大学衝撃・極限環境研究センターの研究動向」熊本大学衝撃・極限
環境研究センター長 千葉 昂

出席者 30名

(3) 溶接研究会

(3-1) 13年度第1回研究会

日時:平成13年 9月21日(金)

場所:ルネサンス長崎伊王島 ホテルエスパニー

出席者:100名

(3-2) 13年度第2回研究会

日時:平成13年11月26日(水)

場所:産業技術総合研究所 九州センター

出席者:100名

(3-3) 13年度第3回研究会

日時:平成13年11月29日(木)

場所:北九州テクノセンター

出席者 100名

(3-4) 13年度第4回研究会

日時:平成13年11月30日(金)

場所:福岡県工業技術センター機械電子研究所

出席者 90名

(3-5) 13年度第5回研究会

日時:平成14年 3月 6日(水)

場所:九州大学工学部材料工学科 材料工学2番教室

出席者 50名

(4) 商議員会

日時:平成13年6月29日(金)

場所:熊本大学工学部附属工学研究機器センター